



三谷公民館だより

〈令和7年9月〉

発行 三谷公民館 かつらぎ町三谷 1670-2 Tel. 22-2184

盆が過ぎ、厳しい暑さも峠を越えたものと思っていますが、すぐに秋には向かわずまだまだ暑い日が続くようです。皆様いかがお過ごしでしょうか。

これからソフトバレーボール大会、文化祭作品展、敬老会・民芸大会、大イチョウコンサートなどの大きな行事が続きます。どれも運営委員の皆様にお世話になり実施されます。皆様には、地域の方々と楽しく交流を深め心身をリフレッシュしていただきたいと思います。皆様お誘い合わせの上、これらの行事に是非ご参加いただきますようお願いします。



「三谷子どもまつり」実施



8月3日（日）午後6時30分より、三谷青少年育成協議会主催の「第47回三谷子どもまつり」が三谷公民館で行われました。

初めに、かつらぎリーダークラブの進行で30名以上の小中学生がゲームを行いました。上級生、下級生、そして時には保護者も一緒に楽しく活動する姿が微笑ましく感じられました。そして、かき氷やフランクフルトなどでお腹を満たした後、花火を楽しみました。



三谷青少年育成協議会役員による心のこもった「三谷子どもまつり」で、地元の子ども達は遊びを通して一層絆を深め、保護者や地域の方も子ども達の成長の様子を見ることができました。改めて地元で協力して子ども達を見守っていくことの大切さを感じました。

「三谷の笹踊り」奉納

8月16日（土）、笹踊り保存会の皆様により「三谷の笹踊り」が丹生酒殿神社に奉納されました。

「三谷の笹踊り」は室町時代を起源とする風流踊りのひとつで、五穀豊穣や雨乞いなどを願うものです。

音頭とりの伸びやかな歌声と太鼓に合わせ、それぞれの踊り手が農作業の様子を独自に表現します。江戸時代に奉納を行った記録が残っており、令和5年3月31日に町教育委員会より「かつらぎ町無形民俗文化財」に指定されています。



30年ぶりに盆踊りを実施！

8月16日（土）に丹生酒殿神社境内で公民館サークルの「大イチョウ三谷組」が主催して盆踊りが行われました。サークル代表の大倉美邦さんの呼びかけで、かつて盛んだった盆踊りが約30年ぶりに復活しました。

福内清美さんが踊り方の手本を見せ、「かつらぎ音頭」や「ヤッチョンマカセ」、地元に伝わる「三つ拍子」や「チョイトシタ」など7曲を懐かしく感じながら踊りました。約50人の住民の方々の参加で盛り上った盆踊り、私たちの地元に伝わる伝統文化をこれからも大切にしていきたいものです。



公民館建替検討委員会が視察に行きました！



8月20日（水）の午後、公民館建替検討委員会が高野山学びの杜（もり）へ視察に行ってきました。高野山学びの杜は小学校、中学校、こども園、給食センター、図書館、公民館が一体になった複合施設です。

3階建ての大変大きな建物のそれぞれのエリアに細やかな配慮や意図がありました。施設内にいる大人が子ども達を見守っている安全面の重視、読書、調理、もの作りなどで子どもから大人までが共用できるスペース、誰もがくつろいだり学習したりできる空間や備品への工夫など、参考になるものが多くありました。これから的新公民館の内部の詳細設計に生かしていきたいと思います。

「こどもとおとの自習室」を実施

7月下旬から8月の毎週火・木曜日の午前中に「こどもとおとの自習室」として大ホールを開放しました。

夏休み中の宿題や読書、折り紙やルービックキューブなど、来られた方は涼しい場所で自由に学習や趣味などに取り組みました。暑い中毎日数人の方の利用があり、家とは違う環境で過ごして気分転換をできたのでは思います。

子ども達の様子を見守り学習を教えていただいた地元の皆様、どうもありがとうございました。

